

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 お～らい		
○保護者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年2月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひとりひとりの発達特性を丁寧に捉え、他職種が連携して支援を行う点	個別支援計画をもとに療育プログラムを立て、日々の生活の中での変化や成長をミーティングで共有し、保育士や児童指導員(元学校教員)を中心に療育を行っています。必要に応じて、看護師への相談を行ない、チームでの支援を行っています。	職員ミーティングの機会の確保や内容のあり方を再検討し、一人一人の発達特性を職員全員がより理解し、他職種が連携して支援を行えるよう取り組みます。
2	外出の機会を持ち地域交流を行なう点	公共の施設の利用を行ない、社会経験を広げることができるように取り組んでいます。公園や子ども食堂の利用を行ない、地域とのつながりを持てるように工夫しています。	地域とのつながり、公共施設の利用だけではなく、イベントや地域貢献を行いながら地域住民の方々との関わりにもつなげていくことができるよう取り組みます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園等との情報共有が不足していること	保育園等との情報共有を行ない、一貫した支援を目指していますが、担任等との交流の機会を設定することが難しいです。	お迎えの機会だけでなく、訪問や見学を行い担任や教員との交流を行ったり、お手紙等を利用しながらお～らいの療育を知っていただけるよう取り組みを行います。
2	保護者同士、きょうだい同士の交流ができる機会が少ないこと	交流の機会を求める声や参観日を求める声がありますが参加者が少ないことや機会が少ない状況で交流の時間の確保が難しい状況があります。	気兼ねなく参加できるようなイベントの企画や参観日の開催、ペアレントトレーニングの機会を設定し、保護者やきょうだいが交流できるよう工夫します。
3			